

ほづみ保育園 自己評価 集計結果

《評価基準》

5. 出来ている 4. ほぼ出来ている 3. 出来ているがもっとやれば出来ると思う
2. あまり出来ていない 1. 出来ていない

実施日：H29.9

平均値 回答数

《社会人として》

	平均値	回答数
1 きちんとした対応が出来ている。(礼儀、言葉、挨拶、電話対応など)	3.8	13
2 時間や締め切りなど約束が守られている。	4.2	13

《専門職として》

	平均値	回答数
1 子ども一人ひとりの変化に気づけている。	3.8	12
2 子どもの言葉に耳を傾けている。	4.1	12
3 子どもに一人ひとりに丁寧に対応している。(一人ひとりの状態に応じた対応出来る)	3.7	12
4 子どもたが意欲的に取り組める環境を用意したり、言葉をかけている。	3.1	12
5 行事の目的を理解し、積極的に関わろうとしている。	3.9	13
6 園の理念・保育方針を理解している。	3.8	13
7 自己管理が出来ている。(時間・体調など)	4.0	13
8 わからないことをそのままにせず、先輩等に聞き、学び、自分の力にしている。	3.8	13
9 相談した後の報告が出来ている。必要な連絡が出来ている。	4.0	12
10 保育園の中の一年の流れを理解している。	4.1	13
11 研修等に積極的に参加し、様々な事を吸収しようとしている。	3.6	13
12 自分の仕事に責任を持って取り組んでいる。	4.1	13
13 コミュニケーション力を身につけ、他の保育者の保育技術を見て学び取り組む姿勢がある。	3.6	12
14 一日の終わりには、その日を振り返り反省したり、課題にしたりしている。	3.6	13
15 常にメモを持ち、すぐにメモを取ることを習慣にしている。	2.5	13
16 常に学びの姿勢で取り組むことが出来る	3.3	13
17 専門職としての勉強を絶やさない	3.0	13

《保育士として》

1	子どもたちの成長、家庭環境を把握し愛情を持って平等に接することができる。	4.3	12
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、年間・月間・週案・日案を作成し、実践している	3.6	10
3	年・月・週・日案等が実際の子どもの姿・興味・関心にあっていたか、という点から自分の保育を評価・反省をしている。	3.4	10
4	子どもの発達段階を理解している。	3.6	12
5	子どもの意欲を誘い、発達に必要な経験が得られるような環境構成が十分に工夫されている。	2.9	11
6	子どもの信頼関係を築いている。	4.1	12
7	職員間で子ども一人ひとりの発達過程や、状況を十分に理解した上で保育している。	3.6	12
8	保育教材の作成、手遊び、わらべ歌、リズム、体育などの保育技術を充実させている。	3.2	11
9	衛生管理、病気の対応について理解を深められている。	3.6	13
10	複数担任のクラスの中で役割を理解し、行動している。	4.1	11
11	担当行事や保育の準備は前日までに行っている。	4.0	11
12	保育室やトイレ、保育室の周りなどの掃除はいつもきちんと行っている。	3.7	12
13	環境整備に気を配り、室内を使いやすいように片付ける。	3.8	12
14	食について保育士と栄養士が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしている。	3.4	13

《全体》

1	目標を持って保育に取り組んでいる。	4.0	12
2	自分を振り返ることが出来る。	3.8	13
3	担任内でコミュニケーションを大切にしている。	4.2	12
4	職員皆で協力して取り組んでいる	4.1	13

《保護者との関わり》

1	保護者と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いている。	3.8	13
2	保育園での子どもの様子を保護者に的確に伝えている。	3.9	11
3	個々の家庭の事情を理解し、守秘義務を守っている。	4.5	12
4	子どもの成長を喜び合い、共感している。	4.8	12
5	保護者からの質問、問い合わせに対してわからない事は確認してから正確に答えている。	4.5	13

《地域支援・子育て支援・世代間交流》

1	地域の方々に積極的に挨拶ができる。	4.5	13
2	自分の園の地域支援の取り組みを理解している。	3.7	13
3	地域支援・子育て支援の役割、重要性を認識している。	3.8	13